

第5号

「自律」「協働」「対話」

令和8年度 長崎市立横尾中学校 学校だより

しなやか

しなやかに挑戦
できないと挑戦をはじめから諦め
ず、どう工夫し、どう改善すればい
いか柔軟に考え、対応していくこと

R 8 . 6 . 2 5 発行
校長：角 厚作

令和8年度 長崎市中総体を振り返って

中総体の熱戦を振り返って

—— 輝きを放ったそれぞれの足跡

先日開催されました中学校総合体育大会(中総体)において、本校の生徒たちは持てる力を遺憾なく発揮し、素晴らしい戦いを見せてくれました。ピッチやコートで最後まで諦めずにボールを追いかける姿、苦しい場面でも声を掛け合い、仲間を信じて躍動する姿、そして声を枯らして声援を送る姿。それぞれの場所で果たすべき役割を果たし、チームが一つの大きなエネルギーとなって結集した、大変感動的な大会となりました。結果には嬉し涙も悔し涙もありましたが、これまで仲間と共に汗を流し、対話を重ねて一つの目標に突き進んできたプロセスそのものに、何物にも代えがたい価値があります。保護者や地域の皆様の温かい応援と多大なサポートに、心より感謝申し上げます。

中総体を終え、部活動の主演は2年生、1年生へと引き継がれ、いよいよ新チームとしての歩みが始まります。先輩たちが築いてくれた伝統という心のバトンを受け取り、今度は1・2年生が自分たちの手でチームを創り上げていく番です。大切にしてほしいのは、誰かに言われて動くのではなく、自分たちで「どんなチームにしたいか」を考え、判断し、行動する「自律」の姿勢です。新チームの始まりは課題に直面することも多いです。だからこそ、お互いの強みを認め合い、弱みを補い合う「協働」と、本音で向き合う「対話」が不可欠になります。一步ずつ、1・2年生達が新しい足跡を刻んでいくことを楽しみにしています。

部活動に一区切りをつけた3年生は、本当にお疲れ様でした。皆さんが見せてくれたひたむきな姿、後輩たちの素晴らしい手本です。大きな山を越えた今、皆さんの前には「進路実現」という次なる山が姿を現しています。これから夏に向けて、本格的な受験

準備のシーズンが始まります。気持ちの切り替えに不安を覚える人もいるかもしれませんが、部活動で培った「忍耐力」「計画性」「団結力」は、受験勉強においても最大の武器になります。部活動で燃やしたあの熱量を、今度は自分の未来を切り拓くエネルギーへと転換していくのです。受験は「個人の戦い」であると同時に、「団結した学年の戦い団体戦」でもあります。3年生全員の「対話」と「協働」によって、互いに高め合える環境を創り出していきましょう。自分で決めた目標に向かって、自信を持って一步を踏み出してください。

保護者の皆様、学校では、この夏休みに向けて、生徒たちが主体的に学びを進められるよう、授業や面談等を通してきめ細かなサポートを行ってまいります。今年度導入いたしました「単元テスト」や「水曜日の隔週早期下校」などを通して、生徒たちは「自らの時間をどうマネジメントするか。自分と向き合い、心や学習状況を整理する時間として」自己について考える力を少しずつ養ってきました。この夏休みは、まさにその成果を実践する絶好の機会となります。子どもたちが自立に向かう過渡期において、ご家庭におかれましても温かい見守りと励ましをお願いいたします。学校と家庭、地域がしっかりと手を携え、子どもたちの「新しい挑戦の夏」を共に支えてまいりましょう。

また、今年度より、生徒の主体的なタイムマネジメント力を育むため「フォーサイト手帳」を導入しています。日々のスケジュール管理や振り返りを行うことで、見通しを持って行動する習慣を目的として実施しています。まもなく迎える夏休みは、時間を自分でコントロールする絶好の機会です。ご家庭でも手帳の利用状況を一緒にご確認いただき、充実した夏休みを過ごせるよう温かい声かけとサポートをお願いいたします。



先生からのアドバイス「なりたい自分」へ